

「こんなところで働きたい」「こんな仕事がしたい」

若い世代が**魅力**を感じる

働こう

企業を誘致

リニア岐阜県駅西側に整備

西部テクノパーク

児童・生徒が地元企業と

”出会う場”を創出

元気にしよう

「いい地域だな」「活気があるまちだ」

交流促進 大学生の農家宿泊体験 受け入れ

中心市街地活性化基本計画を策定

中津川市

平成29年度 主要な取り組み

人口8万人への挑戦

移住・定住

未来へ つながる花道 今こそ見せ場

一般会計予算 365億7,100万円



中学校35人
相当学級

市独自に
拡大実施

子育てしよう

修学支援金貸付

「子どもを育てるなら、なかつがわで」
保育士・幼稚園教諭

3万円/月
最大2年間

待機児童ゼロを目指す

リニア

2027年開業まで
あと10年

いよいよ本格化

東濃東部都市間連絡道路

岐阜県駅周辺土地区画整理

秋には事業認可 地区界測量がスタート

H31春
完成予定

新衛生センター 建設開始

「行ってみたい」「来てよかった」「住んでみたい」

国道257号

知ってもらおう

地歌舞伎ロード

ラッピングバスで地歌舞伎アピール

日本の伝統文化の発信拠点

馬籠集会所 リニューアル

住もう

「暮らしやすいなあ」

「なかつがわに住み続けたい」

市内に移住し
市内で働く方の
住宅家賃を支援

月額4万円超の
家賃に対し2万円

活用できる 空き家を 有効利用

移住・定住 未来へつながる花道 今こそ見せ場

人口8万人への挑戦推進枠対象事業

若者の地元定着・移住促進

働こう!

◆若い世代が魅力を感じる企業を誘致

[新規]リニア岐阜県駅の西側に西部テクノパークを整備
⇒H29：現況測量・地質調査の実施、基本計画の策定等 【92,958千円】

子育てしよう!

◆待機児童ゼロを目指す

[新規]保育士や幼稚園教諭を目指す学生に修学支援金を貸付
(3万円/月、最大2年間)を行うことで保育士等を確保 【5,400千円】

◆中学校35人相当学級の拡大実施

[拡大]中学2・3年生の35人相当学級導入※1年生は県制度で導入済
⇒H29：坂本中学校2年生・第一中学校3年生で導入 【5,546千円】

住もう!

◆活用できる空き家を有効利用

[新規]市内に移住し、市内で働く方の住宅家賃を支援
(月額4万円超の家賃に対して2万円限度) 【9,720千円】

知ってもらおう!

◆文化や自然を味わう「体験型観光」を充実

[新規]下呂市、白川町、東白川村と連携し、国道257号を
「地歌舞伎ロード」と銘打ってプロモーション
⇒H29：地歌舞伎を観光活用していくための方策を検討 【ゼロ予算事業】

[新規]地歌舞伎をアピールするラッピングバスを路線バスに
導入するなど、外国人観光客に対するおもてなしを向上 【4,476千円】

元気にしよう!

◆活力ある地域づくりを支援

[新規]明治大学学生の農家宿泊体験受け入れによる交流促進 【350千円】

◆中心市街地のにぎわいを創出

[新規]中心市街地活性化基本計画を策定 【6,437千円】

総合計画の着実な推進

人々がかがやくまち中津川

◆8万人のヘルスアップを推進 【343,222千円】

・市民それぞれのライフステージに合った健康づくりの取り組みを、関係機関と協力・連携して総合的に実施
⇒母子保健、学校教育、スポーツ推進、企業における健康経営の推進等

やすらぐ自然につつまれたまち中津川

◆新衛生センターの建設 【675,577千円】

・福岡地区において、クリーンで自然環境に優しい、新たな衛生センターを整備
⇒H29：進入道路改良・施設建設工事を実施 (H31年春完成予定)

活気あふれるまち中津川

◆青木斧戸線の整備 【469,800千円】

・国道19号と国道257号を円滑に結ぶ幹線道路、地域の主要生活道路として整備。また、防災道路として西小学校までの道路を整備。
⇒H29：用地取得・工事を実施 (平成31年度完成予定)

◆(仮称)神坂スマートインターチェンジの整備 【60,000千円】

・地域の利便性向上と観光誘客の推進、災害時・緊急時の迂回路確保を図るために整備
⇒H29：事業認可申請、詳細設計を実施

リニア中央新幹線関連事業

◆リニア中央新幹線関連拠点の整備 【159,405千円】

・都市拠点とリニア岐阜県駅、車両基地等を円滑に連絡する東濃東部都市間連絡道路等を整備
⇒H29：東濃東部都市間連絡道路の用地測量・用地取得を実施

◆リニア岐阜県駅周辺の土地区画整理 【85,183千円】

・リニア岐阜県駅に必要な基盤整備と周辺の土地利用を一体的に推進
⇒H29：土地区画整理事業の事業認可を受け、地区界測量等を実施

平成29年度予算

移住・定住 未来へつながる花道

今こそ見せ場

平成29年度予算の概要<資料>

- 1 若者の地元定着・移住促進のための
新規・拡大事業 P 1~14
- 2 総合計画の着実な推進のための主な事業
P15~21



若者の地元定着・移住促進の必要性

■ H27年国勢調査の結果

区分	H27	H22	比較
市全体	78,883人	80,910人	▲2,027人
うち			
年少人口	10,320人	11,086人	▲766人
生産年齢人口	43,890人	47,053人	▲3,163人
小計	54,210人	58,139人	▲3,929人

全体人口は約2,000人の減少だが、64歳までの人口では約4,000人減少

■ 中津川市の転入・転出 出生・死亡による増減

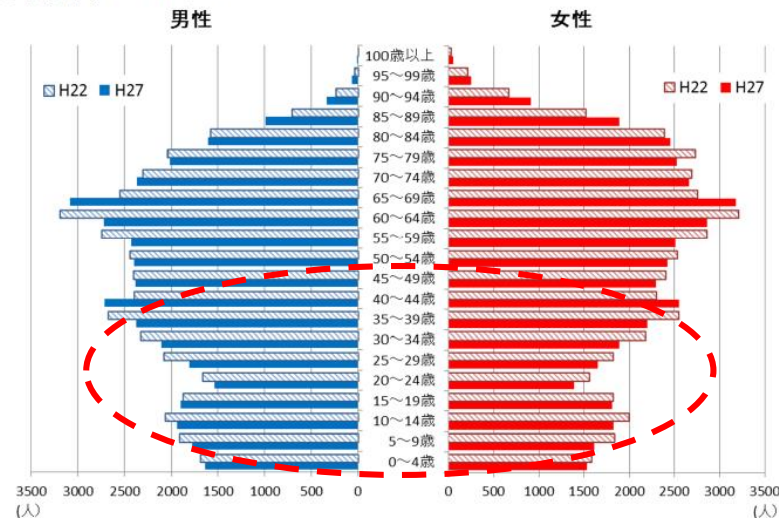
< H27年度転入・転出による増減 >

転入	転出	比較
2,084人	2,360人	▲276人

< H27年度出生・死亡による増減 >

出生	死亡	比較
601人	997人	▲396人

■ 中津川市の人口ピラミッド



ここを減らさない・増やす

若者の地元定着・移住促進が必要



そのための施策

中津川で	働こう	「こんなところで働きたい！」「こんな仕事がしたい！」そんな夢を持てるまちにします。
	子育てしよう	「子どもを育てるなら、ここで」そう言ってもらえるまちにします。
中津川を	住もう	「暮らしやすいなあ」「ここに住み続けたい」そう感じてもらえるまちにします。
	知ってもらおう	「行ってみたい！」「来てよかったなあ」、「住んでみたい」そう言ってもらえる人を増やします。
	元気にしよう	「いい地域だな」「活気があるまちだ」そう言える人を増やします。

若者の地元定着・移住促進のための平成 29 年度新規・拡大事業

本市が持つ「現在の魅力」と「リニア開通など将来備える魅力」を十分に踏まえ、「人づくり」や「情報発信」などの施策を組み合わせ、若者が地域に誇りを持てるまちづくりや移住者を受け入れる地域づくりなどに重点的に取り組みます。

人口 8 万人への挑戦推進枠対象事業

総額 340,554 千円

中津川で

働こう！「こんなところで働きたい」「こんな仕事がしたい」そんな夢を持てるまちにします

- ①若い世代が魅力を感じる企業を誘致 新 リニア岐阜県駅の西側に西部テクノパークを整備
- ②児童・生徒が地元企業と“出会う場”を創出 拡 小学生対象のキャリア学習を大幅拡充
- 新 高校 2・3 年生を対象にした企業説明会を開催
- ③若者が働きやすい環境づくりに取り組む地元企業を応援 新 健康経営の推進、ワークライフバランスへの配慮などに取り組む企業を応援
- ④多様なライフスタイルに応じた働き方を応援 新 空き店舗を活用した新たな事業展開を支援
- 新 専修学校等の学生と木材関連企業とのマッチング

(予算事業名)	(予算額)
企業誘致推進事業	92,958 千円 (P. 3)
中津川市の未来を担う人材育成事業	1,889 千円 (P. 4)
若者の地元定着推進事業	750 千円 (P. 4)
工業振興事業	1,565 千円 (P. 4)
商業振興事業	3,000 千円 (P. 5)
ゼロ予算	ゼロ (P. 6)

子育てしよう！「子どもを育てるなら、ここで」そう言ってもらえるまちにします

- ①待機児童ゼロを目指す 新 小規模保育事業所(2カ所)で未満児保育の受け入れ開始
- 拡 私立保育園で未満児保育受け入れ枠を拡大
- 新 保育士や幼稚園教諭を目指す学生に修学支援金を貸付
- 新 私立幼稚園に復職する幼稚園教諭に支援金を助成
- ②中学校 35 人相当学級の拡大実施 拡 中学 2・3 年生※の 35 人相当学級導入
- ※1 年生は県制度で導入済み

(予算事業名)	(予算額)
法人保育所事業	67,400 千円 (P. 7)
法人保育所事業	49,831 千円 (P. 7)
公立保育所事業	5,400 千円 (P. 7)
私立幼稚園助成事業	800 千円 (P. 7)
学力向上支援事業	5,546 千円 (P. 7)

住もう！「暮らしやすいなあ」「ここに住みたい」そう言ってもらえるまちにします

- ①活用できる空き家を有効利用 新 市内に移住し、市内で働く方の住宅家賃を支援
- 新 ニーズの多い戸建て賃貸住宅の供給を促進

(予算事業名)	(予算額)
中津川に住もうサポート事業	9,720 千円 (P. 8)
中津川に住もうサポート事業	4,000 千円 (P. 8)

中津川を

知ってもらおう！「行ってみたい」「来てよかったなあ」「住んでみたい」そう言ってもらえる人を増やします

- ①文化や自然を味わう「体験型観光」を充実 新 国道 257 号を「地歌舞伎ロード」と銘打ってプロモーション
- 新 外国人観光客に対するおもてなしを向上
- 新 日本の伝統文化の発信拠点として馬籠集会所を耐震改修
- 新 広域連携による地域資源の発掘、磨き上げと観光事業化を支援
- ②市の魅力を PR し、移住を応援 新 中京圏での移住 PR を強化
- 拡 体験住宅やミニツアーでお試し移住から本格移住へ
- 拡 市ホームページを多くの人の目にとまり、わかりやすいものに更新

(予算事業名)	(予算額)
観光推進事業・外国人観光促進事業	ゼロ (P. 10)
観光推進事業・外国人観光促進事業	4,476 千円 (P. 10)
観光施設管理事業	61,296 千円 (P. 11)
体験型観光推進事業	1,500 千円 (P. 11)
シティプロモーション推進事業	1,325 千円 (P. 12)
なかつがわ体験住宅推進事業	1,700 千円 (P. 12)
ホームページ作成管理事業	6,837 千円 (P. 12)

元気にしよう！「いい地域だな」「活気があるまちだ」そう言える人を増やします

- ①活力ある地域づくりを支援 拡 地域で活動する団体の稼ぐ力を支援
- 拡 地域の活性化を推進する集落支援員を増員
- 新 外からの視点で地域づくりを支援する地域おこし協力隊員を任命
- 新 明治大学学生の農家宿泊体験受け入れによる交流促進
- ②中心市街地のにぎわいを創出 新 中心市街地活性化基本計画を策定

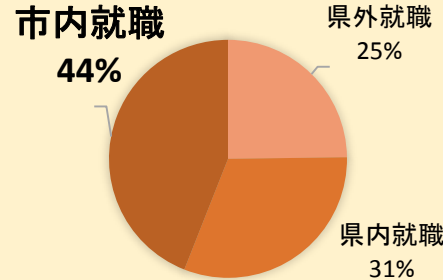
(予算事業名)	(予算額)
市民協働推進事業	4,860 千円 (P. 13)
集落支援員事業	5,534 千円 (P. 13)
地域おこし協力隊事業	3,380 千円 (P. 13)
農業政策事業	350 千円 (P. 14)
中心市街地活性化推進事業	6,437 千円 (P. 14)

新: 新規 拡: 拡大

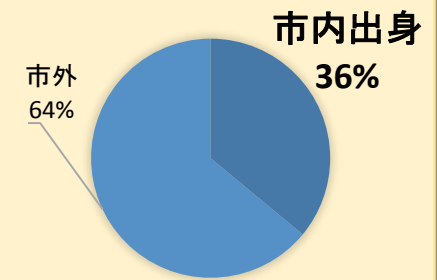
【現状(傾向)・課題】

- ・市内5校の高卒就職者の市内就職率44%
(※高校卒業者の53%が大学等へ進学)
- ・市内企業に就職した大卒者のうち市内出身者の割合は36%

高校生の市内就職率(H28.3)



市内企業への大卒就職者(H28.3)



若い世代が魅力を感じる企業を誘致

平成29年度の取り組み

◆リニア岐阜県駅の西側に西部テクノパークを整備

○開発に向けた企業用地の調査

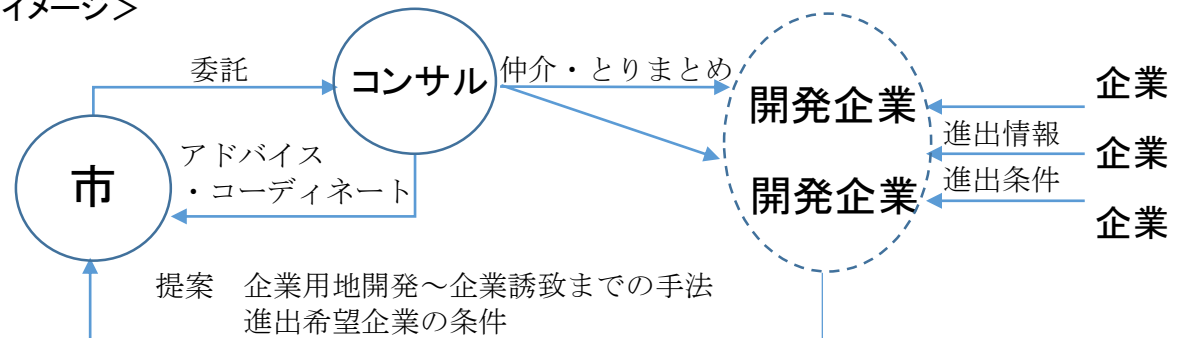
- ・現況測量・地質調査の実施、基本計画の策定など

⇒H30以降の取り組み H30～H31環境調査 H31基本設計 H32詳細設計 H31～H34用地取得 H35～H36造成工事

○民間開発企業と連携して開発から企業誘致の可能性までを分析

- ・複数の民間開発企業から企業用地開発～企業誘致までの事業手法や参画意向、進出希望企業の調査を行い、その可能性を探る。

<民間企業との連携事業展開イメージ>



【現状(傾向)・課題】

- ・市内5校の**高卒就職者の市内就職率44%** (※高校卒業者の53%が大学等へ進学)
- ・市内企業に就職した大卒者のうち**市内出身者の割合は36%**
- ・市内有効求人倍率(H28.12)は**2.01倍** (※全国1.43)

【現在の取り組み】

小学生	中学生	高校生	大学生
<p>すご技企業見学 (6校の5年生)</p>	<p>職場体験学習</p>	<p>市内企業のバス見学 ツアー 企業情報冊子配布</p>	<p>市内企業のバス見学 ツアー ジョブナビで情報発信</p>
		<p>阿木高校にキャリア カウンセラー設置</p>	<p>リレー方式会社説明会 ふるさと企業UIJターン 奨励事業 インターンシップ奨励事業</p>

この拡充が必要！

児童・生徒が地元企業と“出会う場”を創出
若者が働きやすい環境づくりに取り組む地元企業を応援

平成29年度の取り組み

- ◆**小学生対象のキャリア学習を大幅拡充**
 - ・市内全小学校で「すご技企業見学」(企業訪問バスツアーや出前講座)を実施。
 - ・将来的には中学生対象まで拡大し、キャリア学習を拡充。
- ◆**高校2・3年生を対象にした企業説明会を開催**
 - ・高校2・3年生の進学予定者とその保護者を対象に就職時を見据えた市内企業の説明会を実施。
- ◆**健康経営の推進、ワークライフバランスへの配慮などに取り組む企業を応援**
 - ・シンポジウムの開催やアドバイザーの派遣などで、健康経営優良法人(健康経営)・岐阜県子育て支援エクセレント企業(ワークライフバランス)・若者応援宣言企業(若者雇用促進)などの認証取得に向けた地元企業の取り組みを応援。



働こう④

【現状(傾向)・課題】

- ・ 商店街空き店舗活用のニーズが高い
25%が商店街発展のために空き店舗活用事業を求める(商店街振興組合・発展会所属事業者対象アンケート)
- ・ 林業事業体の就業者数の伸び悩み
H17: 74人 → H22: 86人 → H26: 79人

【現在の取り組み】

◇ 創業支援事業

市と商工会議所、商工会、金融機関が連携して、国の支援メニュー導入を促すなど、創業しやすい環境整備を実施

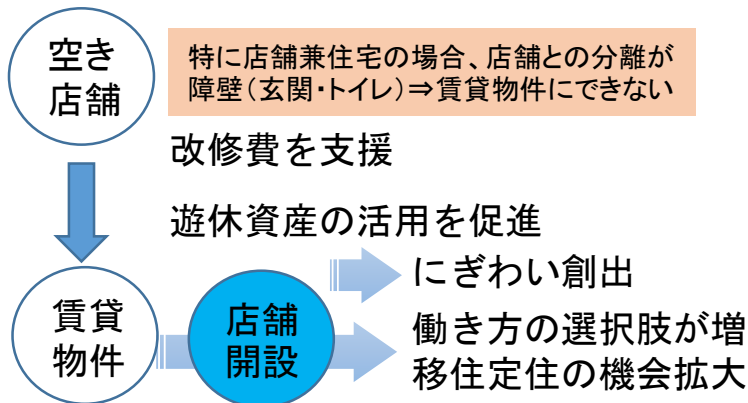
多様なライフスタイルに応じた働き方を応援

平成29年度の取り組み

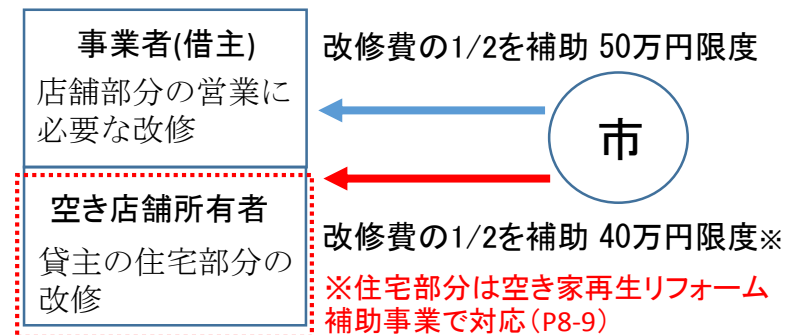
◆ 空き店舗を活用した新たな事業展開を支援

- ・ 起業や事業拡大など多様な働き方を支援するため、空き店舗活用を後押しする。
- ・ 空き店舗を賃貸物件にするために店舗所有者が貸し出しに必要な住宅と店舗を区分けする改修費用の一部について支援。
- ・ 空き店舗を活用して新たな事業を行う事業者に対し、改装費用の一部を支援。

<事業展開イメージ>



<支援の仕組み>



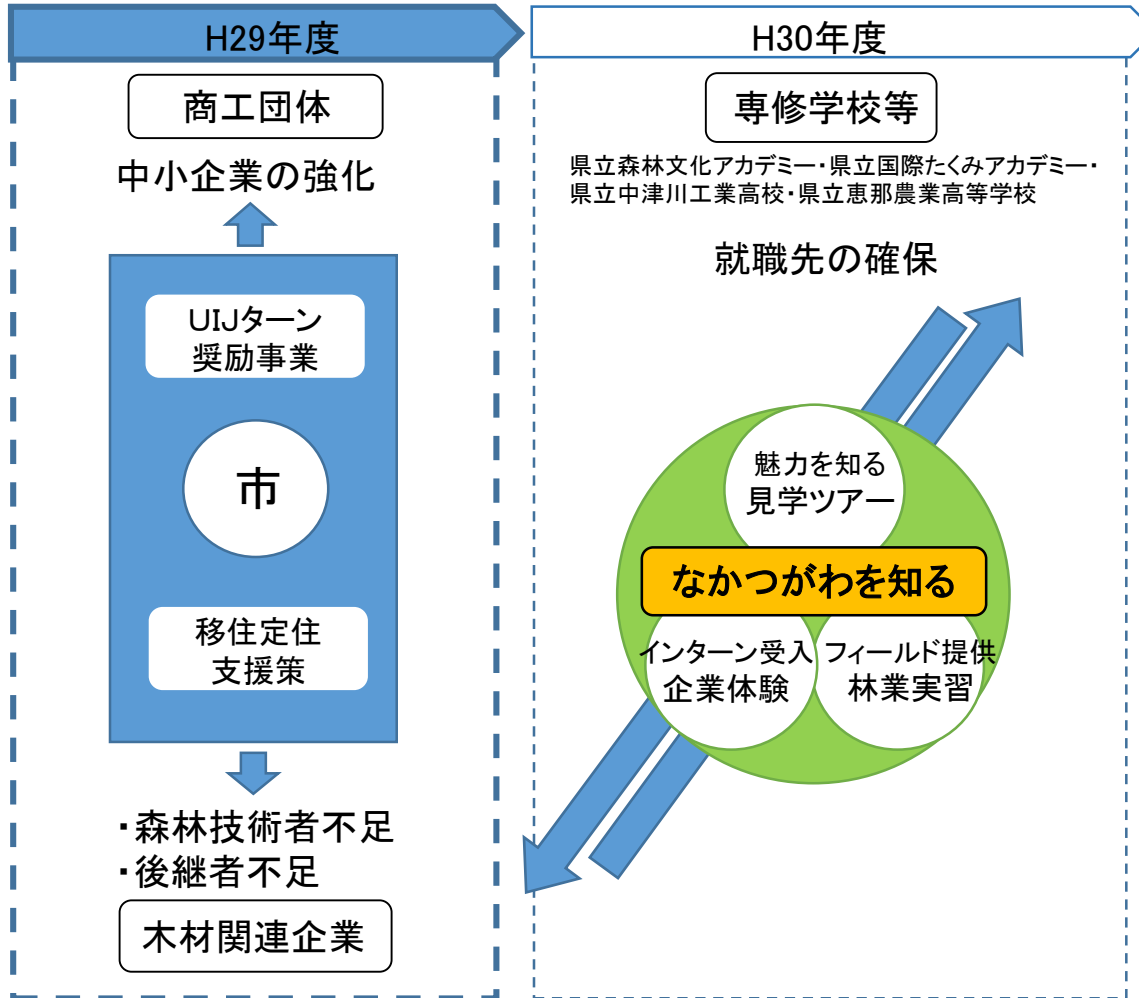
※支援を受けるには、商店街組織等の推薦が必要となります。

平成29年度の取り組み

◆専修学校等の学生と木材関連企業とのマッチング

- ・木材関連企業、商工団体、市が連携
- ・後継者受け入れを希望する事業所の掌握、後継者獲得に向けた専修学校等とのつながりを築く。

<事業展開イメージ>



【現状(傾向)・課題】

- ・待機児童は0人であるが、潜在待機児童は11人(H28.4)
※国は待機児童の定義を見直す(統一する)方針
- ・未満児保育のニーズが多い
申込数H24年度378人→H29年度482人 **5年で1.3倍**
- ・公立保育園の保育士が5年で33人減少(正規+常雇)

【現在の取り組み】

- ◇未満児保育受け入れのための施設整備を支援(H28)のぞみ保育園、こぼと保育園
- ◇臨時保育士の随時採用募集を継続
⇒応募が少ない状態

待機児童ゼロを目指す

平成29年度の取り組み

- ◆小規模保育事業所(2カ所)で未満児保育の受け入れ開始
・誠和あい保育園19人、家庭保育園くつく10人
- ◆私立保育園で未満児保育受け入れ枠を拡大
・のぞみ保育園10人、こぼと保育園12人
- ◆保育士や幼稚園教諭を目指す学生に修学支援金を貸付
・対象：将来市内で保育士等として勤務する意思のある学生
・貸付金3万円/月(最大2年間) ※保育士は県貸付制度の併用も可能
- ◆私立幼稚園に復職する幼稚園教諭に支援金を助成
・復職支援金20万円(1園あたり)

【現状(傾向)・課題】

- ・学級編制は国の規定で40人(小1は35人)
→県事業で一部35人編制を実施(小2~小3、中1)

小学校						中学校		
1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
国	県	県				県		

【現在の取り組み】

- ◇第一中学校2年生で35人編制モデル導入

中学校35人相当学級の拡大実施

平成29年度の取り組み

- ◆中学2・3年生の35人相当学級導入
・思春期、受験を控える時期にきめ細かな指導が必要
・坂本中学校2年生、第一中学校3年生で導入

<35人相当学級編制の例(第一中学校1年生77人の場合)>

	1年生	2・3年生	2・3年生
A組	26人	38人	26人
B組	26人	39人	26人
C組	25人	-	25人

【現状(傾向)・課題】

- ・ UIターン住宅(家賃3万円)は空きが7件のみ (H29.1)

戸数	入居	空き
38	31	7

- ・ 特に移住者からは戸建て賃貸住宅の希望が多いが、空き家情報バンクの賃貸登録物件は2件 (H29.1)

※売買登録物件 6件

【現在の取り組み】

◇賃貸住宅に関する移住定住者向け支援

区分	新婚	~40歳
	民間賃貸住宅	
移住	(新婚さんいっしょい事業) 4万円を超える家賃負担に対し 1万円限度で補助 (1年間)	UIターン者住宅
定住		家賃3万円 5年で退去して 地区内に定住

この拡充が必要!

供給を促す更なる施策が必要!

◇空き家情報バンク登録奨励金制度

- ・ 奨励金の交付 (成約した時: 所有者4万円、紹介者1万円)

◇地域における空き家調査活動を支援 (一地域につき5万円)

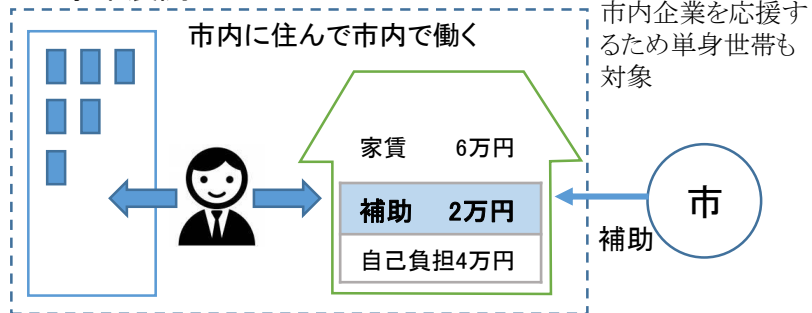
活用できる空き家を有効利用

平成29年度の取り組み(利用者向け)

◆市内に移住し、市内で働く方の住宅家賃を支援

- ・ 40歳までのUIターン者で、市内で働く方に対して家賃月額4万円を超える部分に対し2万円限度で補助

<事業展開イメージ>

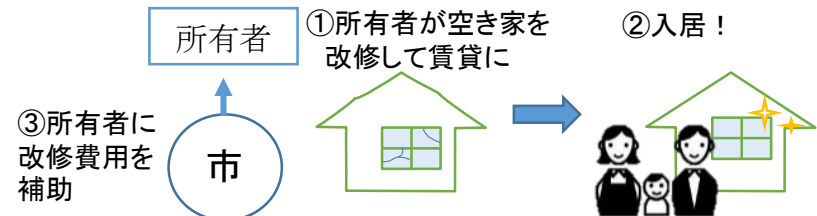


平成29年度の取り組み(所有者向け)

◆ニーズの多い戸建て賃貸住宅の供給を促進

- ・ 賃貸の目的で空き家を改修し、賃貸契約が成立した場合補助率1/2、40万円を限度に改修費を助成 (店舗兼住宅の店舗を賃貸にするために行う住宅部分の改修も対象)

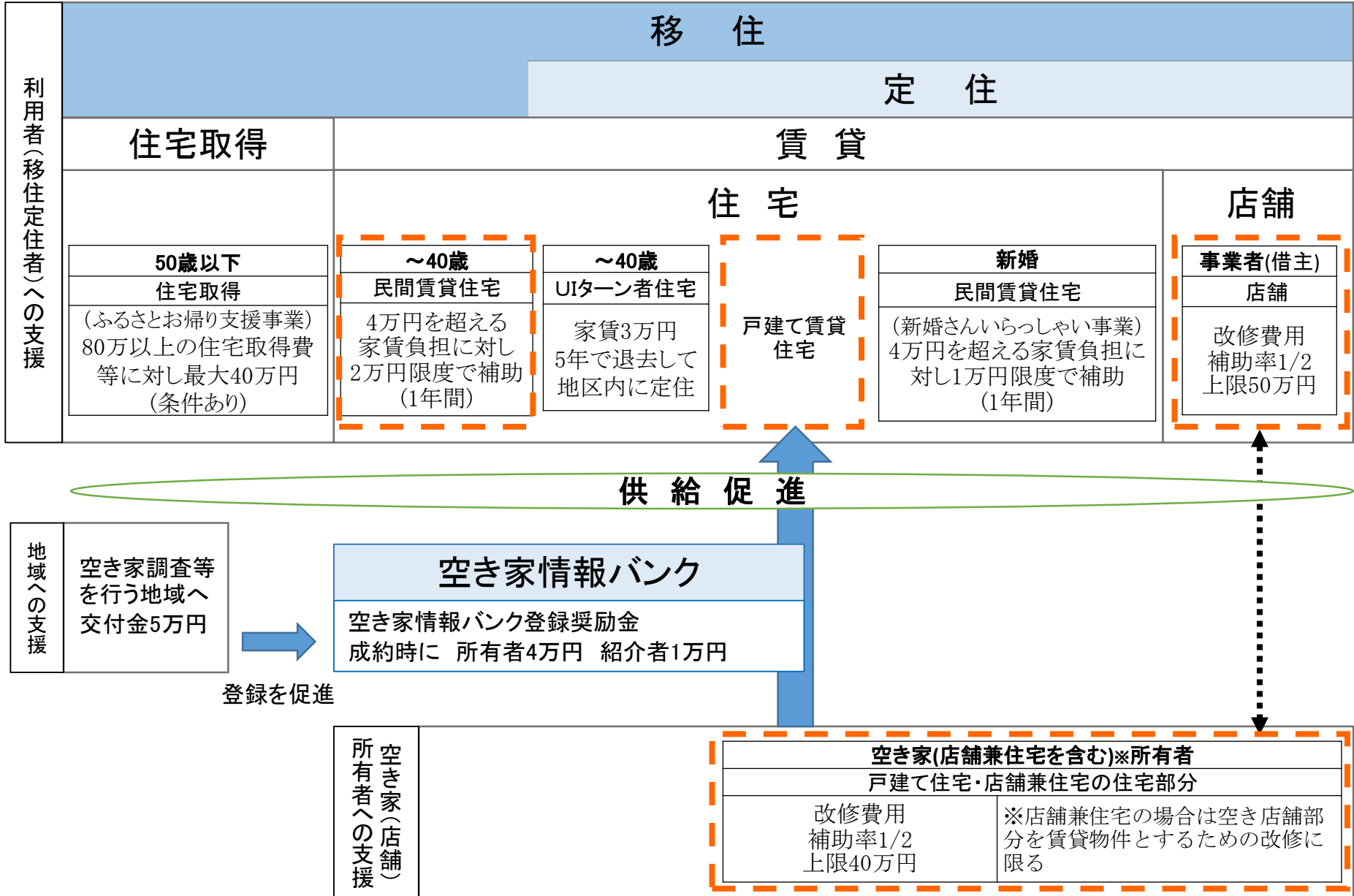
<事業展開イメージ>



不動産事業者が持つ空き家物件の情報を掲載できるようにするなど空き家情報バンクの登録要件も緩和!

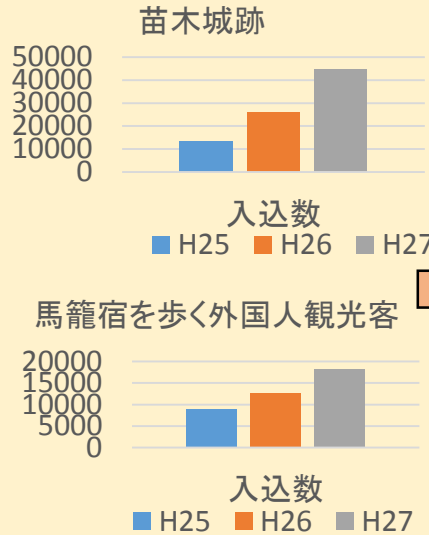
H29年度 住宅支援の拡充

※  新規



【現状(傾向)・課題】

- ・観光入込客数は増加傾向 ⇒ 400万人突破
H25 : 388万人 → H26 : 378万人 → H27 : 404万人
 - ・特に「苗木城跡」は2年間で3倍超の伸び
H25 : 1.4万人 → H26 : 2.6万人 → H27 : 4.5万人
 - ・外国人観光客も増加傾向
(馬籠宿・妻籠宿間を歩く外国人観光客数)
H25 : 0.9万人 → H26 : 1.3万人 → H27 : 1.8万人
- ⇒多くの観光客により深く知ってもらい、地域活性化につなげる取り組みが必要



【現在の取り組み】

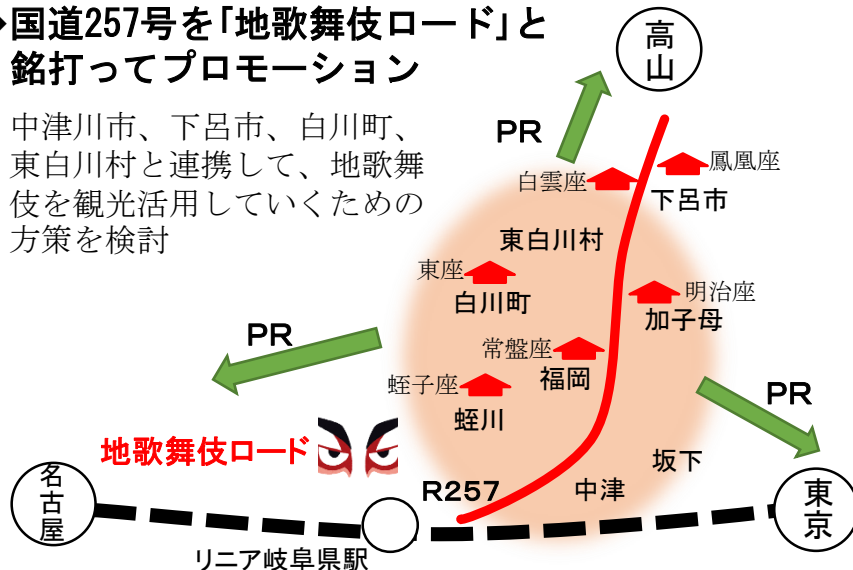
- ◇地歌舞伎ミニ公演(馬籠宿)
- ◇ボランティアによるガイド(中山道、苗木城跡、常盤座など)
- ◇明治座歌舞伎体験
- ◇サイクリングガイドツアー
- ◇外国人向け案内看板整備(中津川駅前、苗木城跡など)
- ◇英語版ガイドブックの作成

文化や自然を味わう「体験型観光」を充実

平成29年度の取り組み

◆国道257号を「地歌舞伎ロード」と銘打ってプロモーション

- ・中津川市、下呂市、白川町、東白川村と連携して、地歌舞伎を観光活用していくための方策を検討



平成29年度の取り組み

◆外国人観光客に対するおもてなしを向上

- ・外国人観光客の受け入れノウハウを持った民間企業と連携して、情報発信やおもてなし力の向上を支援

住んでいる人には見慣れたもの

外から見ると…「これはいい!!」「こうするととってもいいなあ」

掘り起こし・アドバイス

磨き上げ!

- ・地歌舞伎をアピールするラッピングバスを路線バスに導入

平成29年度の取り組み

◆日本の伝統文化の発信拠点として馬籠集会所を耐震改修

- ・外国人観光客が安全・安心に日本の伝統文化に触れられる機会を創出

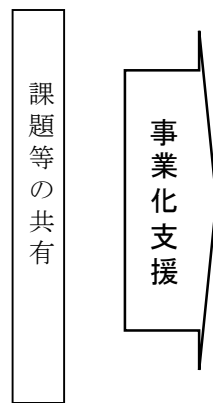
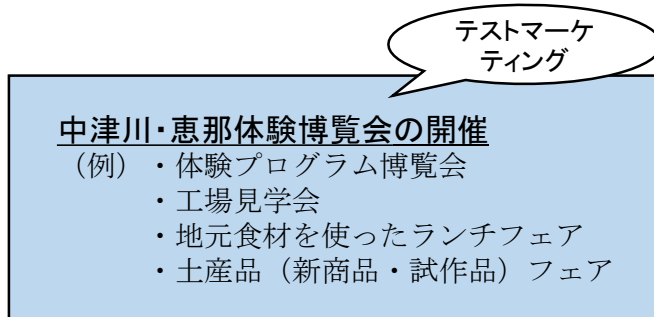
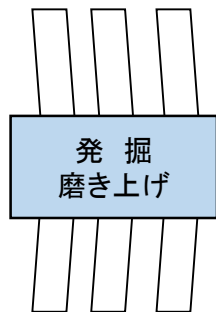


◆広域連携による地域資源の発掘、磨き上げと観光事業化を支援

- ・中津川市、恵那市の産学金官が連携して、体験プログラム等の見本市「中津川・恵那体験博覧会」を開催し、事業者等の観光事業化を支援

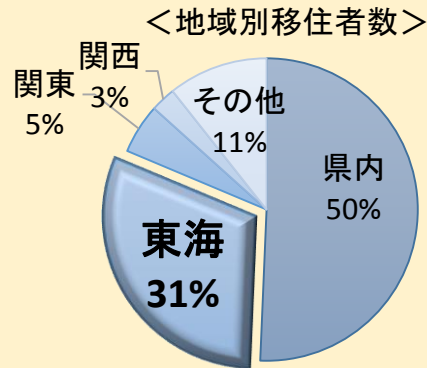
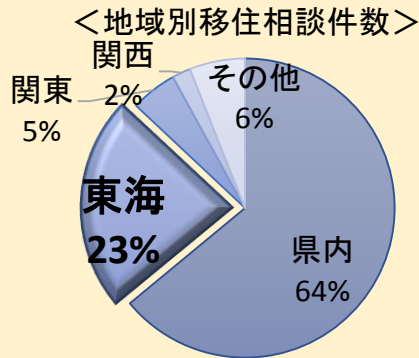
<事業推進イメージ>

- 宿泊・観光施設
- 体験観光提供者
- 学生起業者



【現状(傾向)・課題】

- ・移住相談件数の23%、移住世帯の31%が東海地域(愛知県・三重県)から



【現在の取り組み】

- ◇移住定住相談会セミナーの開催
東京1回、大阪3回、名古屋3回
- ◇移住希望者の中津川体験ツアー実施
H28年11月：8人参加
(県内3人、愛知県4人、滋賀県1人)
- ◇中津川体験住宅の整備促進
阿木地区「阿ん木のうち」
加子母地区「松屋」

市の魅力をPRし、移住を応援

平成29年度の取り組み

◆中京圏での移住PRを強化

- ・フリーペーパーを活用し、中央線沿線地域へのPR強化
- ・金融機関との連携協定によるFMラジオを使ったPR
- ・移住相談会や移住セミナーを拡充(名古屋5回程度)
- ・移住者等によるSNSを活用した情報発信

◆体験住宅やミニツアーでお試し移住から本格移住へ

- ・体験住宅での宿泊と体験メニューを合わせたお試し移住。その後の本格移住を円滑に進める。

◆市ホームページを多くの人々の目にとまり、わかりやすいものに更新

- ・市の魅力をアピールできるデザインに更新
- ・見やすく使いやすいホームページに更新



【現状(傾向)・課題】

・5年間で約2,000人の人口が減少 (H27及びH22国勢調査)

地区	H27	H22	増減	地区	H27	H22	増減
中津川	53,368	53,533	▲165	加子母	2,815	3,071	▲256
山口	1,723	1,831	▲108	付知	5,725	6,142	▲417
坂下	4,690	4,993	▲303	福岡	6,529	6,996	▲467
川上	799	889	▲90	蛭川	3,234	3,455	▲221
				計	78,883	80,910	▲2,027

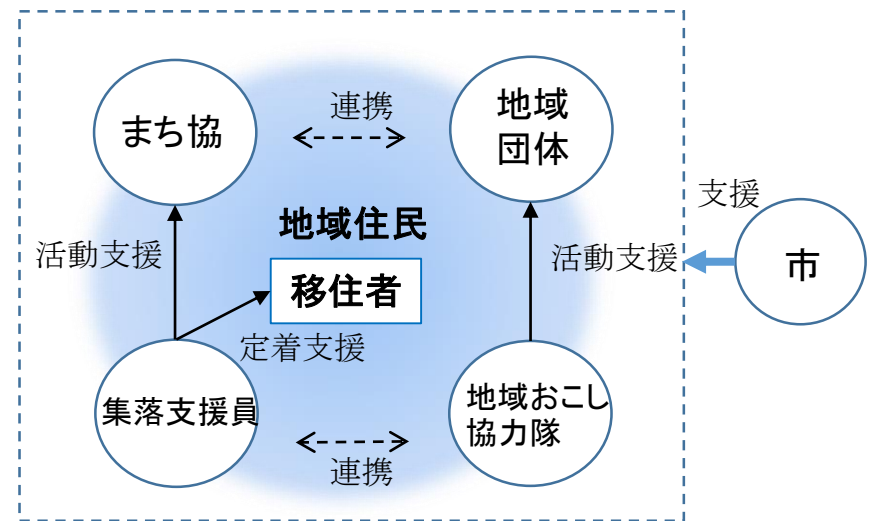
【現在の取り組み】

- ◇がんばる地域サポート事業
 - ・市民が主体となった、各地域の創意と工夫を活かした地域づくり活動に対して助成
- ◇域学連携(地域×大学の連携)
 - ・6地域で18大学が活動(H28)

活力ある地域づくりを支援
中心市街地のにぎわいを創出

平成29年度の取り組み

- ◆地域で活動する団体の稼ぐ力を支援
 - ・団体の自立化に向けてモデル事業を支援
- ◆地域の活性化を推進する集落支援員を増員
 - ・移住者への支援やまちづくり活動の支援を実施
- ◆外からの視点で地域づくりを支援する地域おこし協力隊員を任命
 - ・加子母地域で芝居小屋「明治座」を活用した地域づくり

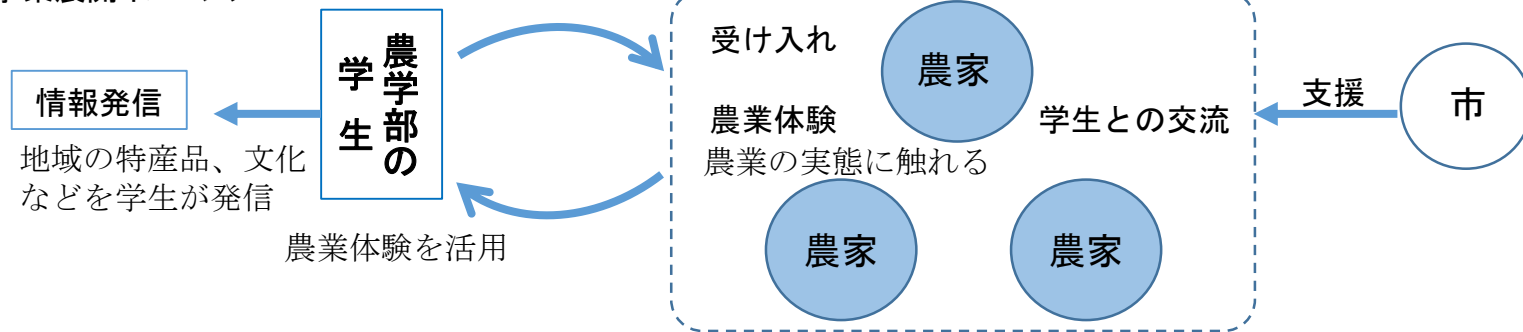


平成29年度の取り組み

◆明治大学学生の農家宿泊体験受け入れによる交流促進

・福岡地区で大学生の農家宿泊体験を受け入れ、学生による地域の情報発信など、大学との連携を深めていく

<事業展開イメージ>

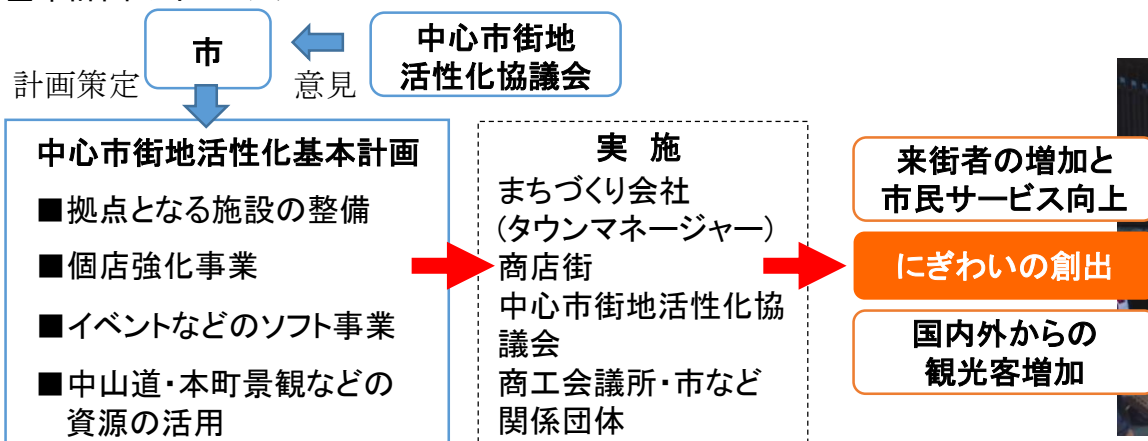


平成29年度の取り組み

◆中心市街地活性化基本計画を策定

・新町ビル跡地の活用策を具体化し、中心市街地活性化基本計画に事業を位置づける
・中心市街地活性化事業を企画運営するまちづくり会社を設立

<基本計画のイメージ>



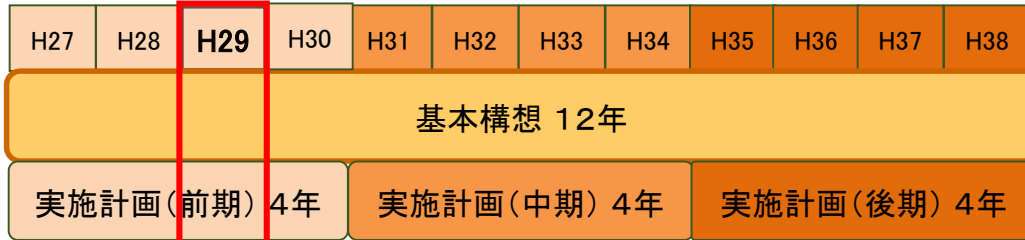
将来都市像

かがやく人々 やすらげる自然 活気あふれる 中津川

総合計画の期間

基本構想の計画期間：H27年度～H38年度までの12年間

実施計画の計画期間：前期、中期、後期の各4年間



平成29年度は前期実施計画3年目
折り返し年度

総合計画



土地利用構想(リニア中央新幹線関連事業)

将来都市像実現に向け、スピード感を持った取り組みを推進

⇒最終年度に向けスパートをかける

ソフト・ハードの施策を強力かつバランス良く推進

⇒市民の暮らしを守るとともに、リニア時代を見据えた市の持続的発展を目指す



中津川市総合計画(前期事業実施計画)の着実な推進

8万人のヘルスアップを推進



市民がいきいきと健康に暮らすために、それぞれライフステージに合った健康づくりの取り組みを、関係機関と協力・連携して総合的に行います。

◇8万人のヘルスアップ事業

- ・健康相談、健康推進員活動、健康経営推進、健康福祉まつり、たばこ対策、私の健康づくり宣言、栄養運動教室など
- ・食育、けんぱち弁当(バランス食)普及

<関連事業>

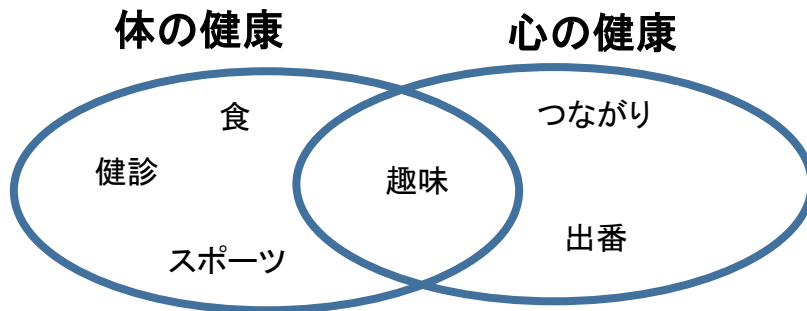
- ◇母子保健 乳幼児健診・相談、食育推進など
- ◇歯科保健 はみがき教室、歯科健診
- ◇健康増進 特定健康診査、各種がん検診など
- ◇学校教育 学力アッププログラム(食育)、市内deオリンピックなど
- ◇幼児教育 チャレンジ週間、子ども生活調査など
- ◇スポーツ推進

ウォーキングコース設定、清流木曾川中津川リレーマラソン大会など

- ◇生涯学習 各種公民館講座
- ◇企業における健康経営の推進



健康づくりのイメージ



ウォーキングを楽しもう



健康福祉まつり「食育推進コーナー」

新衛生センターの建設

福岡地区において、浄化槽汚泥が増加しても安定的に処理を行うことができる最新技術を備え、クリーンで自然環境に優しい施設を、新しい衛生センターとして建設しています。

◇新しい衛生センターの概要

処理能力:65 kl/日

(し尿17 kl・浄化槽汚泥48 kl)

処理方式:膜分離高負荷脱窒素処理方式
(膜を利用した自然環境に優しい処理方式)

資源化:リン化合物の生産
(リン成分を肥料化する)

H29 年度

:H28年度から引き続き、橋梁設置工事を行います。新たに、進入道路改良工事、施設建設工事を行います。



工事用仮設橋



工事現場の様子



青木斧戸線の整備

リニア開業を見据えて、市の主要幹線道路である国道19号と国道257号を円滑に結ぶ幹線道路として、さらには手賀野・駒場地域の主要生活道路として青木斧戸線を整備し、利用者の利便性の向上と朝夕の渋滞低減を図ります。

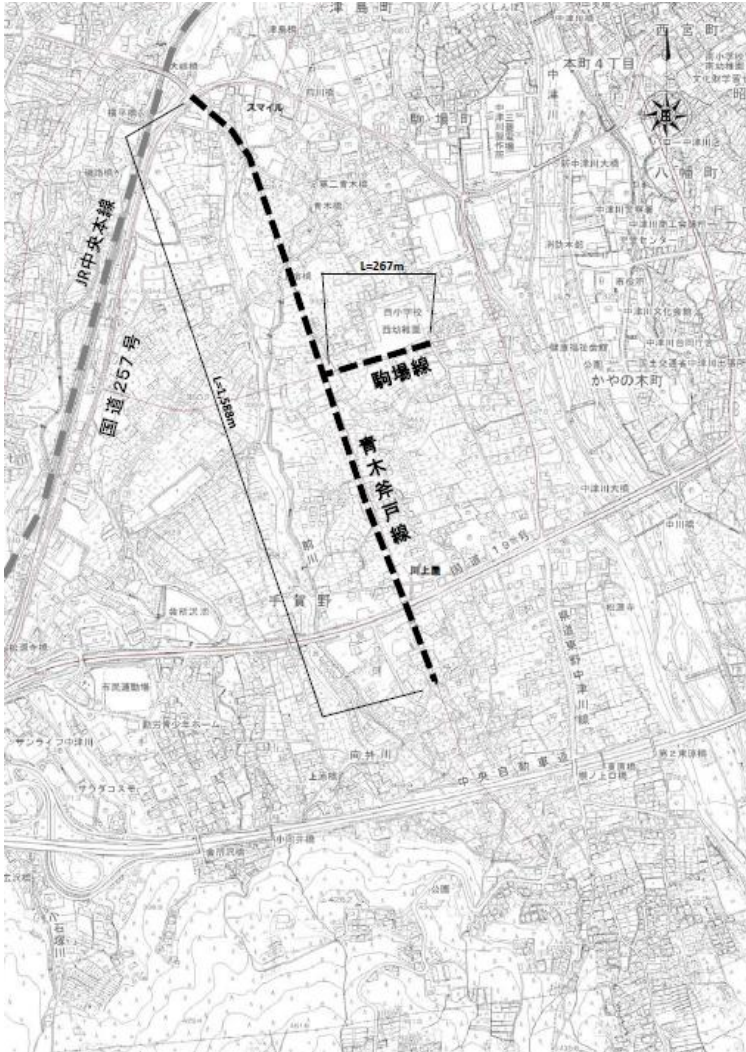
また、中津西地区の避難所である西小学校へ大型車が進入できる防災道路として青木斧戸線から西小学校までの道路(駒場線)を整備します。

◇青木斧戸線

- ・国道257号青木交差点～国道19号間 (L=1,360m W=16.0m)
- ・国道19号～市道会所沢～円通寺線 (L=228m W=12.0m)
- ◇駒場線
 - ・青木斧戸線～西小学校 (L=267m W=12.0m)

H29 年度

:用地取得を進め、用地取得ができた箇所から工事を着手します。



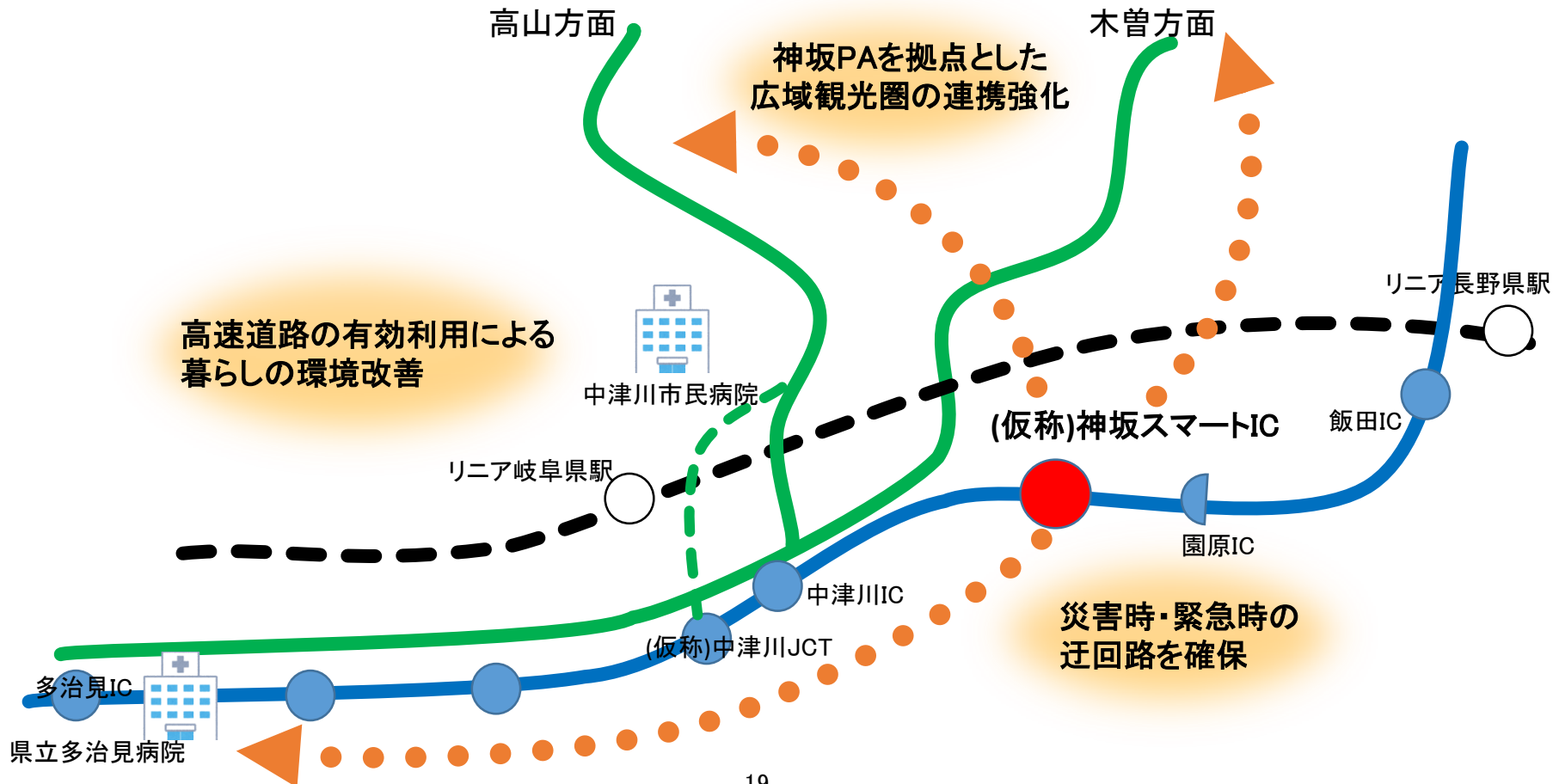
青木斧戸線完成イメージ

(仮称)神坂スマートインターチェンジの整備

神坂・山口・坂下地区等の利便性向上と、馬籠などへの観光誘客の推進とともに、災害等の緊急時に高速道路外への避難、災害復旧車両の進入路確保のため、神坂PAに(仮称)神坂スマートインターチェンジを設置します。

H29年度

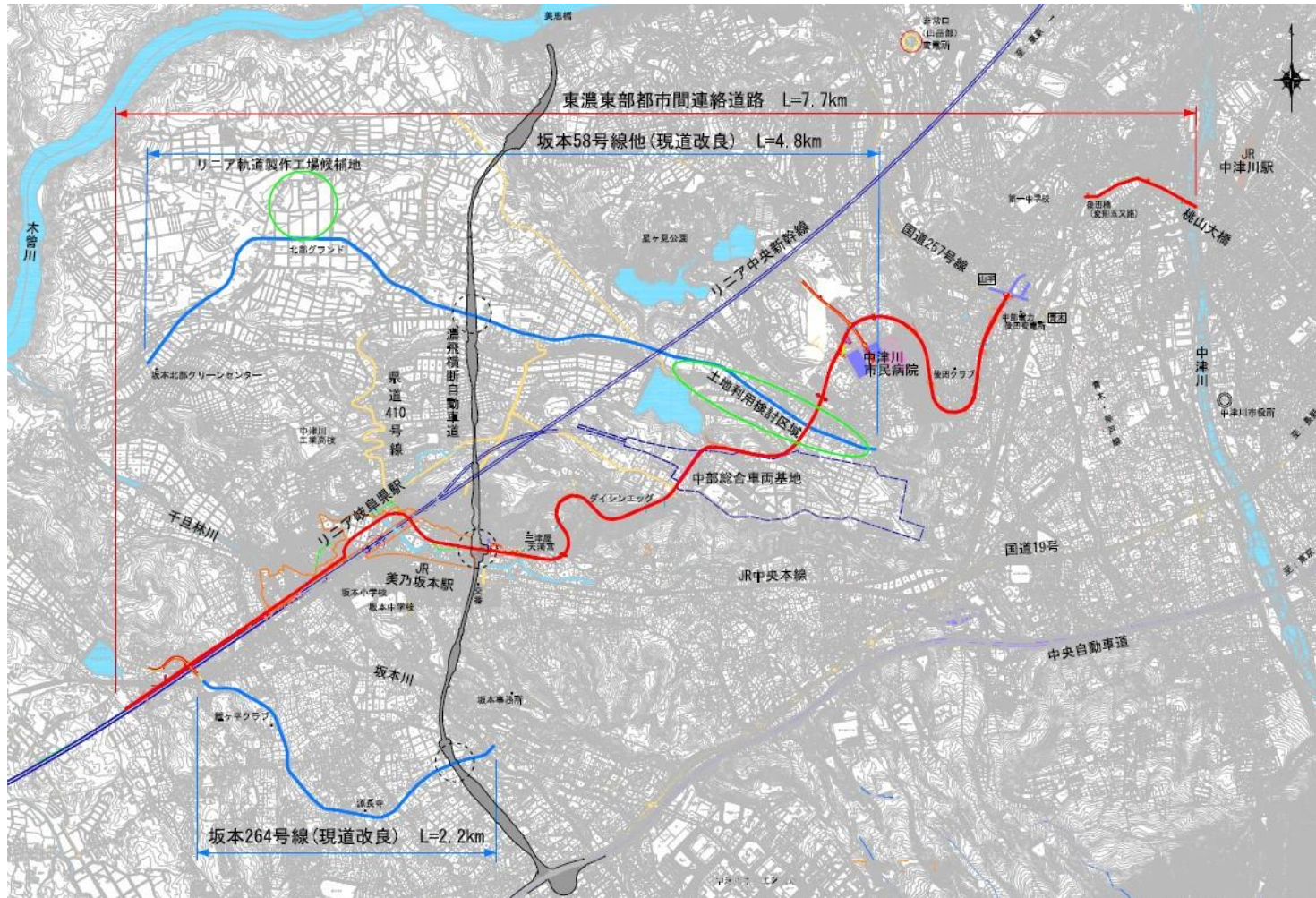
:事業認可申請と(仮称)神坂スマートIC設置詳細設計を行います。



リニア中央新幹線関連拠点の整備

リニア岐阜県駅を本市のみならず岐阜県の玄関口として位置づけ、駅及び車両基地周辺の都市基盤整備を行うため、都市拠点と駅、車両基地、さらには、恵那市街地を円滑に連絡する新規道路及び市道坂本58号線他、市道坂本264号線の整備を推進します。

H29年度：東濃東部都市間連絡道路 用地測量・用地取得を行います。



リニア岐阜県駅周辺の土地区画整理

広域の交通拠点となるリニア岐阜県駅に必要な基盤整備と周辺の土地利用を一体的に図るため、土地区画整理事業を実施します。

H29年度

:土地区画整理事業の事業認可を受け、地区界測量等を行います。



駅前広場イメージ図

リニア岐阜県駅周辺土地区画整理事業計画案

